

## 日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価について

### 1. 評価根拠

「日中サービス支援型指定共同生活援（グループホーム）」の運営にあたっては、地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質を確保する観点から、事業者は、地域公共団体が設置する協議会等に対し、定期的（年1回以上）に事業の実施状況等を報告し、評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならないと規定されています。（基準省令第213条の10）

また、知事が必要と認める場合には、事業指定の申請にあたり、協議会等に対し、運営方針や活動内容等を説明し、評価を受け、その内容を知事に提出するものとされています。

### 2. 評価の目的

日中サービス支援型共同生活援助の運営にあたっては、地域に開かれたサービスとすることにより、サービスの質の向上を図る観点から実施するものです。

### 3. 評価の視点

利用者に応じて外部サービスも利用し、日中サービス支援型共同生活援助サービス提供が漫然かつ画一的なものとならないよう配慮されているか。

地域住民活動との交流に努めているか。

### 4. 実施の流れ

#### （1）既に指定を受けている場合（定期評価）

##### ①必要書類の提出

時 期：4月

対 象：指定後（開設後）1年ごとに提出

内 容：「報告・評価シート」を市に提出

##### ②市協議会にて評価を依頼

時 期：5月（プラン作成年度は6月）

内 容：「報告・評価シート」に対し「要望・助言・評価」を依頼  
（要望・助言・評価をシートに記入）

評価者：協議会委員

##### ③市協議会にて評価実施、事業所へ結果通知

時 期：7月（プラン作成年度は8月）

内 容：事業者同席のもと、集約した「要望・助言・評価」を事業者に伝え、質疑内容について事業者より回答を得る。

④評価に向けた改善

時 期：評価実施後

内 容：「要望・助言・評価」等における全体的な資質向上に努める。

(2) 指定前に事前評価を要する場合

①必要書類の提出

時 期：協議会開催月の1月前

対 象：市内に開設予定の事業者

内 容：「報告・評価シート」を市へ提出

②市協議会にて評価実施

時 期：直近の協議会

内 容：事業者が事業説明、「報告・評価シート」に基づき質疑応答

評価者：協議会委員

③事業所への結果通知

時 期：評価実施後

内 容：市より事業者に「要望・助言・評価」等の通知を行う

④評価に向けた改善

時 期：評価実施後

内 容：「要望・助言・評価」等に全体的な資質向上に努める。